

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	久留米大学大学院医学研究科修士課程看護学専攻						
教育プログラム・コース名	大学院医学研究科修士課程「科目等履修生制度」(インテンシブ)						
対象者	地域医療に携わる医療従事者						
修業年限(期間)	2年						
養成すべき人材像	施設や地域を越えた在宅療養の推進にむけて、がん患者と家族を中心とした地域システムの中で多職種との調整力を持ち、ベストプラクティスを導き出せる力を持った医療従事者。						
修了要件・履修方法	本教育プログラム(インテンシブコース)で定める科目について、選択した科目を履修し、所定の単位を修得したら、単位を認定する。						
履修科目等	専攻分野共通科目:がん診断治療学(2単位)、がん看護特論(2単位)、がん看護援助論(2単位)、専攻分野専門科目:がん緩和ケア特論、がん緩和ケア地域連携援助論(2単位)から選択する e-learningによる履修						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	高齢がん患者やがんで在宅療養する患者が多い現状で、本地域は、地域緩和ケア施設や携わる多職種の医療従事者が多いという特徴がある。そこで、連携を最大限に生かす調整力を持った人材、地域住民に対する啓発活動を実践するための教育的スキルを持った人材の育成が望まれる。本コースでは、がんに必要なとされる知識や援助を修得出来る科目に加えて、総合大学という強みを生かし教育学のスペシャリストとコラボレーションし、小集団学習、リーダーシップ論の講義・演習を取り入れ、がん緩和ケア地域連携における教育実践力の向上について探求するがん緩和ケア地域連携援助論を取り入れた。大学院での履修によりスキルアップした人材を地域へ還元することができ、がん看護の質を保証できる。						
指導体制	久留米大学大学院医学研究科 教授 原 頼子、教育学のスペシャリスト2名、医学部看護学科専任教員6名、兼任講師(がん看護専門看護師)3名						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	インテンシブコース修了生は、地域におけるがん緩和ケア連携教育の企画・運営を担うことになるが、久留米ネットワーク(教育課程履修生・修了者で構成される)に所属するがん看護専門看護師が活動を支援することにより、質の高い連携教育力が提供できる。また、毎年開催されるがんプロ共催による久留米ネットワークセミナーに参加することにより、フォローアップが受けられ、九州内の緩和ケア従事者との連携の輪が広がる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療に携わる医療従事者		2	2	2	2	8
							0
							0
	計	0	2	2	2	2	8